

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	5月	31日				
事務事業名	農産物被害防除事業			事業類型	補助金							
担当部課G等	産業部 農政課	農業振興グループ	記入者氏名	岩上 雄太								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり						■ 実施計画対象事業				
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る										
	基本事業名	2 安全な食料の安定供給										
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	03	事業名	農産物被害防除事業	根拠法令	那珂市イノシシ等被害防止対策事業補助金交付要項	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要												
【全体概要】 ・水稲における病害虫の共同防除 ・農作物に対するイノシシ等の被害防止及び捕獲 ○H28から捕獲期間延長(6カ月⇒7カ月)						【業務内容】 ・共同防除の申込みや区域設定及び那珂市病害虫防除隊への補助金交付 ・防護柵や電気柵等を設置した農業者に対しての補助金交付 ・那珂市鳥獣害対策協議会への補助金交付						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)					
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
水稲稲作農家・防護柵等設置農家			空中散布農家件数	件	3417.	3522.	3600.	3600.	3600.			
			防護柵等設置農家数	件	17.	18.	34.	34.	34.			
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
那珂市病害虫防除隊が空中散布を実施。イノシシ等の獣類による農作物の被害を防止するため、防護柵等の設置に対する補助金交付やイノシシの捕獲を実施。			空中散布実施面積	ha	728.	655.	758.	758.	758.			
			イノシシ捕獲頭数	頭	142.	133.	200.	200.	200.			
					0.	0.	0.	0.	0.			
					0.	0.	0.	0.	0.			
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
良質米の生産を図り、生産性を高めることにより農業所得の向上を図る。イノシシ等の被害による収穫皆無面積の削減。			1等米の比率	%	90.7	93.3	93.	93.	93.			
					0.	0.	0.	0.	0.			
					0.	0.	0.	0.	0.			
					0.	0.	0.	0.	0.			
(2) 投入量の推移												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	1,892	1,892	1,892	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	3,725	4,040	5,121	5,121	5,121	0				
事業費計(A)		千円	3,725	4,040	7,013	7,013	7,013	0				
人件費	正規職員	千円	0	0.00人	2,221	0.39人	2,221	0.39人	2,221	0.39人		
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人		
	人件費計(B)	千円	0	2,221	2,221	2,221	2,221	2,221				
投入量(A)+(B)		千円	3,725	6,261	9,234	9,234	9,234	9,234				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			・昭和38年頃、良質米生産をするため、病害防除は一斉に広範囲の水稲作付圃場にわたって行った方が良いとの観点から開始。 ・獣類による被害報告が多数寄せられ、農家の自衛意識の向上を図るため開始。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			・平成18年度より有人ヘリコプターから無人ヘリコプターの空中散布に切り替わり、農家の実施希望圃場を対象に個々の農家の防除作業受託の形に変化した。 ・イノシシの被害は範囲を含め拡大傾向にある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・農家からは、個々で防除を実施するのは困難なため、無人ヘリによる防除は助かるとの声がある。 ・イノシシ等被害防止対策事業については、生息範囲の拡大により、今後も農地の自営防衛に対する助成の希望がある。									

(4)前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)															
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円																
0	千円																
0	千円																
0	千円																
0	千円																
0	千円																
0	千円																
0	千円																

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農家が農作物被害防除として、自衛防衛を行うものに対し、市が支援することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 空中散布については、農家が希望する水田のみを実施しているため対象拡大はできない。鳥獣害については、イノシシによる農作物被害が絶えないことから、対策を強化するため、イノシシの捕獲期間を延長する。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 病虫害防除をしないことによる水稲の品質の低下が懸念されるため。また、鳥獣害の被害報告が続いているため。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費の削減は各農家の負担増加になるため。人件費の削減は、既に可能なものは委託しており、余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 自衛防除が基本となる農作物の被害防除については、農家への意識向上を図るためにも受益者負担金は必要であり、負担割合は適正と考えます。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載															
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善</td><td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td><td></td><td></td></tr></table> <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善											
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善													
<input type="checkbox"/> 公平性の改善															
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 鳥獣害対策(イノシシ)の捕獲期間をH28から6か月から7か月に1か月間延長する。															
改革・改善による期待成果															
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 10%;">成果</td> <td style="width: 10%;">向上</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">維持</td> <td style="width: 20%;">削減</td> <td style="width: 20%;">維持</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">低下</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">増加</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>		成果	向上	コスト		維持	削減	維持	低下		増加			○	○
成果	向上		コスト												
	維持		削減	維持											
	低下		増加												
		○	○												
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載															
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 米の品質向上と省力化は農家の所得と水田利用にとって重要である。獣害は拡大方向にありさらなる対策が求められるのでどちらも充実が必要である。															
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))															
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)															
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)															
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)															

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	6日
事務事業名	園芸振興支援事業				事業類型	補助金			
担当部課G等	産業部 農政課		農業振興グループ		記入者氏名	島山 智光			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画 対象事業		
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名		2 安全な食料の安定供給						
予算科目	一般会計	款 05	項 01	目 03	事業名 園芸振興支援事業	根拠法令			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】 常陸農業協同組合等と連携をし、栽培講習会や先進地視察を開催することにより、園芸振興の強化に向けての支援をする。					【業務内容】 栽培講習会の開催や新規作物の開拓・普及並びに常陸農業協同組合やひたちなか・東海・那珂ほしほ協議会への補助金や負担金の支払い事務				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
常陸農協那珂地区の6生産部会		部会、組織数	部会	6	6	6	6	6	
		講習会、栽培研修会参加者数	人	130	130	130	130	130	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
常陸農協那珂地区の6生産部会の活動経費の一部を補助する。		補助件数	件	1	1	1	1	1	
				0	0	0	0	0	
				0	0	0	0	0	
				0	0	0	0	0	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
各種研修活動を活性化し、生産技術及び知識の高度化を図り、特産品の生産拡大		講習会・栽培研修会開催回数	回	20	20	20	20	20	
		JA販売額	千円	50000	55000	55000	55000	55000	
		JA出荷量	kg	284000	285000	285000	285000	285000	
				0	0	0	0	0	
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費	
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	535	834	852	852	852	0	
事業費計(A)		千円	535	834	852	852	852	0	
人件 費	正規職員	千円	0	1,727	1,727	1,727	1,727	0.30人	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	
	人件費計(B)	千円	0	1,727	1,727	1,727	1,727		
投入量(A)+(B)		千円	535	2,561	2,579	2,579	2,579		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ		農産物価格の低落・生産量の低下により、生産体制の強化をする必要が出てきたため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		担い手の減少・高齢化、後継者不足、農産物価格の下落、安心・安全の意識							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		JA部会員から、この事業により正しい栽培方法や販売促進等の新たな知識が得られるため部会の必要性を感じるとの意見が寄せられた。							

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 地域の特産品であるほしいもの協議会への補助を増加し、地域農業のPRをはじめ、新規作物の導入の推進を図る。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費 302 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市とJAが連携協力することにより、地元園芸農家の生産力向上や販売促進に十分な効果が期待できる。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 27年度は園芸作物の「奥久慈なす」が県から銘柄産地指定されたことにより、ナスの栽培農家だけでなく、他の園芸作物栽培農家の生産意欲の向上につながった。他の園芸作物生産者にもさらなる品質向上や作付面積拡大を目指してもらい、知名度の向上を図る事業展開が求められる。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 園芸農家の高齢化、後継者の不足が依然として解決されていない。このため、PR活動などを通じ、園芸作物の収益性向上により園芸農業従事者数の増加が見込まれ、問題解決につながることから、今後も積極的に市がかかわっていく必要がある。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託することで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) JAIに対する補助金については、園芸作物の生産性及び販売額の向上に向けた各部会活動に寄与しており、削減することが困難である。また、ほしいもの協議会に対する補助金は、ひたちなか市、東海村を含む協議会で決定されており、PR活動等を中止とした事業実績から見て削減することは困難である。人件費については、担当者の業務負担が少なくまた、民間委託するにそぐわない事
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない JAIに対する補助については、JAの部会員もその事業に伴う応分の負担をしており、公平・公正である。ほしいもの協議会に対する補助は、ひたちなか市、東海村を含む協議会で補助額が決定されているため。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 園芸作物のPRを推進し生産者の意欲を高めて需要に対応できる生産強化により売上向上を図り、儲かる農業形態への転換を支援する。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 那珂市のブランド力強化と農地利用の活用のために作物の質の向上と品種と生産者の拡大策が必要である。	※担当部長が記載																							
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	5月	27日			
事務事業名	農業活動拠点施設管理事業			事業類型	施設の維持管理						
担当部課G等	産業部 農政課	農業振興グループ	記入者氏名	岩上 雄太							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり						□ 実施計画対象事業			
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名	1 農業経営の発展									
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	03	事業名	農業活動拠点施設管理事業	根拠法令	那珂市農業活動拠点施設設置及び管理に關
事業期間	□ 単年度のみ			■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 地域農業・農村の活性化を目的とし、地産地消による地域農業の推進、地域交流・都市交流を図るための農業活動拠点施設の維持管理等を行う。						【業務内容】 ・芳野農産物直売所の維持管理 ・芳野農産工房の予約貸出し及び維持管理 ・芳野市民農園の貸出し及び維持管理 ・とんがりはっとの維持管理					
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)					
施設利用者 市民農園						施設数	件	4.	4.	4.	4.
						市民農園総区画数	区画	100.	100.	100.	100.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
農産物直売所、農産工房、芳野市民農園の施設管理						農産工房利用日数	日	142.	142.	142.	142.
						市民農園使用区域数	区画	76.	72.	80.	85.
								0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)					
地域農業農村の活性化、地産地消による地域農業の推進、地域間交流を図ることにより、施設機能を維持し、利用数の増加を図る。						農産工房利用率=(利用日数/年間開館日数)	%	46.	40.	52.1	52.1
						市民農園利用率=(使用区画数/総区画数)	%	80.	72.	80.	85.
						芳野直売所年間売上	百万円	65.	64.	65.	67.
						とんがりはっど年間売上	百万円	112.	119.	120.	120.
(2) 投入量の推移											
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	地	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	所	その他	千円	1,538	1,826	2,177	2,177	2,177	2,177	0	0
		一般財源	千円	2,480	2,123	3,029	3,029	3,029	3,029	0	0
	事業費計(A)		千円	4,018	3,949	5,206	5,206	5,206	5,206	0	0
人件費	正規職員	千円	1,532	0.31人	1,439	0.29人	1,439	0.29人	1,439	0.29人	
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
	人件費計(B)	千円	1,532	1,439	1,439	1,439	1,439	1,439			
投入量(A)+(B)		千円	5,550	5,388	6,645	6,645	6,645				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			平成13年4月に開設されたとんがりはっどと共に、農産物直売所が平成19年4月、農産工房、市民農園が平成21年4月に開設されたことにより管理をすることになった。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			開始時期と比べると、直売所や施設利用数が減少傾向にある。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			非農家(農園利用者)から、手軽に農業とふれあう体験をすることで作物を作る難しさ・楽しさを感じることができるため、市民農園を利用してよかったとの声が寄せられている。								

(4) 前回(平成25年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 地域農業・農村の活性化を目的として市が整備したものであるから、管理することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 芳野農産物直売所の売上が、東日本大震災以降低迷しているため、引き続き経営改善に向けた支援を進める。 また、市民農園においても、設備が整っていること等のPRを強化し、利用率の向上を図る。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 生産者の出荷先や消費者の購入場所として確保されており、農作業をやりたいという市民のニーズにこたえているため、廃止はできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 消耗品等は、開始当初から必要最低限で実施している。また委託可能な業務については、既に委託を行っている。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 他の公共施設使用料と同様に、施設の維持管理に必要な経費を踏まえ使用料を適正に設定している。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善</td><td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td><td></td><td></td></tr></table> <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善			※担当課長、グループ長、担当者が記載															
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																				
<input type="checkbox"/> 公平性の改善																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 産業祭等のイベントにおいてPRをすると共に、SNS等を活用し、情報の発信に取り組む。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 直売所の販売向上は消費者へのサービスと農地の利用増進に直結し、市民農園の市民・都市農村交流とともに、地域の活性化つながりの運営の強化が必要である。	
---	--

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	
---	--

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	
--	--

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	5月	30日			
事務事業名	地域農業マスタープラン作成事業				事業類型	委員会の開催					
担当部課G等	産業部 農政課	農業振興グループ	記入者氏名	宇佐美 智也							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり						■ 実施計画対象事業			
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名	1 農業経営の発展									
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	03	事業名	地域農業マスタープラン作成事業	根拠法令	戸別所得補償経営安定推進事業実施要綱
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 それぞれの集落・地域が抱える人と農地の問題を、一体的に解決するため、「人・農地プラン」を作成し、持続可能な強い農業を実現する。						【業務内容】 ・「人・農地プラン」の活用や認定新規就農者の参入並びに認定農業者の認定及び取消し等に伴う随時修正 ・検討委員会の開催					

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)			
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
地域の中心となる経営体(個人、法人、集落営農)、農地の集積	認定農業者数	人	87.	86.	90.	90.	90.			
			0.	0.	0.	0.	0.			
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
検討委員会等開催(全3回) 農地集積促進の推進	人・農地プラン検討委員会	回	0.	1.	1.	1.	1.			
	人・農地プラン地域座談会	回	0.	4.	8.	8.	8.			
			0.	0.	0.	0.	0.			
			0.	0.	0.	0.	0.			
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
認定農業者や集落営農組織等の育成・確保、農地の集積	集積面積	ha	130.	158.	208.	258.	308.			
	認定農業者等の経営面積	ha	635.1	719.	750.	800.	850.			
			0.	0.	0.	0.	0.			
			0.	0.	0.	0.	0.			
(2) 投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業内費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	48	123	310	310	310	0		
	事業費計(A)	千円	48	123	310	310	310	0		
人件費	正規職員	千円	995	0.17人	1,911	0.30人	1,911	0.30人	1,911	0.30人
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人
	人件費計(B)	千円	995	1,911	1,911	1,911	1,911			
	投入量(A)+(B)	千円	1,043	2,034	2,221	2,221	2,221			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ	地域農業を担う経営体を確保し強い農業構造を実現するために、国の人・農地問題解決推進事業実施要綱により、人・農地プランを作成し、農業の競争力、体質強化を図り、持続可能な農業を実現するため実施する。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	青年就農給付金(経営開始型)や農地集積協力金、経営体育成支援事業、スーパーL資金の5年間無利子化等、国の支援を受けるため、人・農地プランにより地域の中心となる経営体としての位置づけが必須となっている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	認定新規就農者や農地を集積して経営の効率化を図る者、耕作放棄地を解消する者等、農業者から国の支援を受けられる事業があれば活用したいとの要望がある。									

(4) 前回(平成24年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み									
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(予算への反映)							
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円								
0	千円								
0	千円								
0	千円								

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国の人・農地問題解決推進事業実施要綱により、市町村は、集落・地域が抱える「人と農地の問題解決」のため地域における話し合いを実施し、今後の地域の中心となる経営体はだれか、どのように農地を集積するか、地域農業の在り方はどうするか等を定めた人・農地プランを作成することとなっているため、市が実施する必要はある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見直しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？ <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成27年度は市内を4地区に分けて地域座談会を開催したが、地区をさらに分けてを実施することが可能である。また、平成28年度に新たに任命された農地利用適正化推進委員の参加のもと、地域の農地集積と地域の中心となる経営体の掘り起しが可能である。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国の人・農地問題解決推進事業実施要綱により、人・農地プランは市町村が作成することとなっているため、統廃合の余地はない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 人・農地プランは、国の人・農地問題解決推進事業実施要綱により市町村が作成することとなっているため、民間委託によるコストの削減は見込めない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ <input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 人・農地プランは、国の人・農地問題解決推進事業実施要綱により市町村が作成することとなっているため、受益者の負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) →

<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善
<input type="checkbox"/> 公平性の改善		

 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)
 平成28年度に新たに任命された農地利用適正化推進委員の参加のもと、人・農地プラン地域座談会をこれまでの4地区開催から8地区に分けて開催することで、地域ごとにきめ細やかな地域農業の問題を掘り起し、解決を図る。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 平成28年度に創設された農地利用適正化推進委員の参加のもと、人・農地プラン地域座談会をこれまでの4地区開催から8地区に細分して開催することで、地域ごとにきめ細やかな地域農業の問題を掘り起し、解決を図る。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	6月	7日			
					点検日	年	月	日			
事務事業名	土地改良推進事業			事業類型	事業の推進						
担当部課G等	産業部 農政課		農村整備G	記入者氏名	橋本 芳彦						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画 対象事業				
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る								
	基本事業名		5 生産基盤の整備と保全								
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	05	事業名	土地改良推進事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 土地改良事業の推進にかかる経費						【業務内容】 ・多面的機能支払交付金に関する事務 ・県営事業の調査同意、事業同意、説明会等					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
農業振興地域内の農用地	農振農用地面積	ha	2223.	2223.	2223.	2223.	2223.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・県営土地改良事業の推進(新規要望地区の取りまとめ)や事業採択同意の取得等。 ・多面的機能支払制度における活動計画、実施状況、事業成果の確認作業等。 ・負担金及び補助金の申請、支払手続き等。	事業推進地区面積	ha	533.	279.	279.	279.	279.
	事業推進地区数	地区	8.	4.	4.	4.	4.
	多面的活動組織数	組織	3.	11.	20.	20.	20.
	多面的活動農用地面積	ha	127.	393.	718.	718.	718.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
再基盤整備事業の推進を図り、農業の多面的機能の発揮のため地域活動に対して支援し地域の農地を維持するとともに、担い手への農地集積を後押しする。	事業推進率	%	24.	12.6	12.6	12.6	12.6
	多面的活動カバー率	%	5.7	17.7	32.3	32.3	32.3
			0.	0.	0.	0.	0.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	13,845	23,443	22,724	22,724
	地方債	千円	0	0	6,700	3,500	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,071	15,152	18,700	15,397	14,897
事業費計(A)	千円	9,071	28,997	48,843	41,621	37,621	0
人件費	正規職員	千円	4,656	8,850	8,850	8,850	8,850
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0
	人件費計(B)	千円	4,656	8,850	8,850	8,850	8,850
投入量(A)+(B)	千円	13,727	37,847	57,693	50,471	46,471	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	基盤整備後数十年が経過し、施設の改修、効率的、安定的な農業経営の確立が必要となった。農業者の高齢化や耕作放棄地の増加等農村の構造変化に対応した体制の強化や地域の農村環境保全のための活動を支援するため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	農業施設の老朽化が目立ち施設の改修が望まれる 農業者の高齢化や不作付地の増加、後継者不足等の問題 地域資源の維持管理に対する担い手への負担を地域で支え、担い手への農地集積を後押しする						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	担い手への土地利用集積を実施するために再基盤整備を要望する。 土地改良施設の維持管理は受益者や地域住民がこれまでも実施してきたものであり、これらに対する支援制度に積極的に取り組みたいとの要望がある。						

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)																
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	各地区への制度周知により、次年度以降の要望地区の取りまとめを実施。																
		(予算への反映)																
		<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではな く、市が実施する理由はなんですか？ ●民間 事業者は類似の事業を実施していま せんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ・事業採択に向けた地元意向の取りまとめ等を市が中心となり実施することは妥当である。 ・地域の農業施設の維持管理を行政の支援のもと地元組織が共同して実施することが望まれる。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見直しに沿った成果となっています か？ ●成果が一部の対象者に限定されて はいませんか？ ●対象数が増加している 場合、現状どおりの対応では十分に成果が 得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ・制度内容を周知することにより、活動組織数、実施面積の拡大を図る。 ・要望地区に対応するための予算の確保が重要となる。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似て いるものはありますか？ ●廃止又は休止し た場合、事業の対象や成果の状況から判 断し、影響は限定的で対応は可能であると 見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ・整備が遅れることにより、農業生産性が低下し耕作放棄地が増加する。 ・地域資源の維持管理に対する担い手への負担が増大する。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削 減し活動指標を増加(維持)させることは できませんか？ ●担当者の業務の一部(全 部)を民間委託にすることで、担当者の負 担(人件費)を減少できませんか？ ●事業 目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ・年度毎の事業費(負担金)は国県の定めた補助制度に基づいた額となっている。 ・活動計画の確認、申請手続き、実施状況の確認、実績取りまとめ等を一係で行っているため、こ れ以上の人件費削減はできない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合 は適正ですか？ ●受益者負担を求める事 業ではない・負担割合が低い事業の場合、 その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない ・行政と改良区、受益者や活動組織との管理区分は必要であるが、農業、農村の振興を図るため 農村環境を保全していくためには、地域への支援は必要である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善</td><td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td><td></td><td></td></tr></table>	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																		
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																				
<input type="checkbox"/> 公平性の改善																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 農業・農村振興のため、地域資源の保全を図るためには、事業の推進は必要であり、再基盤整備 や地域活動に対して支援することにより、耕作放棄地解消・農地集積促進・農業の生産性向上、そ して担い手農業者の負担軽減につながる。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			⊗	低下			⊗
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			⊗																		
	低下			⊗																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 農地の有効利用、生産者の規模拡大により、農村空間の維持と農業収入の安定化による農業従事者の確保がこれからの農業農村に必要で ある。さらに、時代に柔軟に対応した農業経営のために生産基盤の整備が不可欠である。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	7日		
事務事業名	局所土地改良事業				事業類型	維持管理					
担当部課G等	産業部 農政課		農村整備G		記入者氏名	田上 慎司					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)				第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり						
	施策名				1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名				5 生産基盤の整備と保全						
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	05	事業名	局所土地改良事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要											
【全体概要】 災害等の突発的なものや、経年劣化によって機能に支障が生じた土地改良施設(農道・排水路・溜池)の復旧及び保全・管理を行う。						【業務内容】 機能に支障が生じた土地改良施設に対しての地元からの要望・申請、市パトロールなど災害現場危険度の確認。					
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)					
災害等により復旧の必要が生じた土地改良施設						箇所	26.	34.	30.	30.	30.
							0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
土地改良施設復旧工事 " 除草委託						箇所	26.	34.	30.	30.	30.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)					
土地改良施設の機能を復旧、保安全管理することにより、安心して安全な農業基盤を確保し、農業が支障なく従事できるようにする。						%	100.	100.	100.	100.	100.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移											
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	11,938	9,378	10,416	9,261	9,261	0			
人件費	正規職員	千円	4,153	5,098	5,098	5,098	5,098	0.80人	0.94人	0.94人	0.94人
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
	人件費計(B)	千円	4,153	5,098	5,098	5,098	5,098	0			
投入量(A)+(B)		千円	16,091	14,476	15,514	14,359	14,359				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			整備された土地改良施設に対して機能に支障が生じた時の復旧や維持管理を行う必要があるため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			土地改良施設において老朽化の進んだ施設が多くなってきており、今後の維持管理費が増大していく。ほ場整備事業で多く採用されたコルゲート管について腐食等による陥没が目立ち改修工事の必要性に迫られている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			土地改良施設の維持管理は受益者による賦役で行ってきたものが多い。しかしながら、高齢化や後継者不足のため行政に対して補修、除草などについても要望、陳情が多くなっている。								

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 排水路の整備を進めていった結果、排水機能が向上し、不自由をきたしていた受益地の向上に繋がった。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;">千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) それぞれ管轄を決めて整備を進めているので重複して整備することは無い。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 破損箇所の影響で生じていた欠点が整備により解消され、排水流域全体の受益地における排水機能が回復される。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農業施設において老朽化、破損し、排水機能が低下した箇所を整備している。随時利用されているものであり老朽化することから廃止・休止は難しい。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 既に低コストで最大の効果を生み出す施工を進めている。一部は委託し事業を行っている。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めている事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 農業用施設の保全・修繕であるため受益者に対して負担を求めるものではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 老朽・破損箇所が多数残っているため、危険と判断される箇所においては前倒しで施工する必要性が生じる。且つ機能診断していない箇所も多数あるので、工事施工と機能診断も並行して進める必要性がありコストの増が必要である。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>⊗</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			⊗	低下			⊗
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			⊗																		
	低下			⊗																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 農業経営と地域生活の安定のためにはコスト面で施設の長寿命化と防災面から普段の適切かつ計画的な管理が重要である。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	7日		
事務事業名	那珂川沿岸農業水利事業				事業類型	負担金・補助金					
担当部課G等	産業部 農政課		農村整備G		記入者氏名	中村 裕美					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画 対象事業				
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る								
	基本事業名		5 生産基盤の整備と保全								
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	05	事業名	那珂川沿岸農業水利事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H23 年度～ H36 年度)			
事業概要											
【全体概要】 国営事業により8市町村の受益地の安定的な農業用水を供給するため、ダム、揚水機場、用水路の整備を行う。併せて県営事業等により、水田の用水補給と畑地かんがいを行うための土地基盤整備(ほ場や農道、支線、末端用排水施設)を行う。					【業務内容】 事業費は、事業の推進及び事業費負担金として支出される。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
国営事業における那珂市の受益地				受益地面積	ha	239.	239.	239.	239.	239.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
受益地のうち関連推進地区を決定し、関連推進地区の受益者へ説明会等を行い、地区の土地基盤整備への理解を深めてもらい、関連事業を推進していく。				関連事業推進地区面積	ha	22.9	22.9	22.9	22.9	22.9	
				関連事業推進地区数	地区	2.	2.	2.	2.	2.	
				関連事業完了地区面積	ha	36.4	36.4	36.4	36.4	36.4	
				関連事業完了地区数	地区	1.	1.	1.	1.	1.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
那珂川流域の農業の活性化 農業用水を確保し、農業生産性を向上させ、農業経営を安定させる。				関連事業完了率	%	15.2	15.2	15.2	15.2	15.2	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移											
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	11,327	11,645	11,954	11,800	11,800	0			
事業費計(A)		千円	11,327	11,645	11,954	11,800	11,800	0			
人件費	正規職員	千円	4,312	3,976	3,976	3,976	3,976	0.78人	0.61人	0.61人	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人	0.00人	
	人件費計(B)	千円	4,312	3,976	3,976	3,976	3,976	3,976			
投入量(A)+(B)		千円	15,639	15,621	15,930	15,776	15,776				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			那珂川沿岸地区受益地は用水供給が不安定である。また、ほ場が狭小であり、水利施設も老朽化している。このため那珂川、御前山ダムに水源を求め、農業生産の基盤整備を実施し農業経営の安定化をはかる。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか(開始時期と比べてどう変わりましたか?)			農業、農村をとりまく情勢は高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など大きく変化してきている。国に対し県・関係市町村は、関連事業と十分に調整を図り効果の発現に遅れが生じないことを要望している。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			受益者からは早期着水が望まれている。								

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)															
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	説明会等の実施により事業の重要性、必要性を地権者等に理解してもらえるようにした。また、畑地整備に関するアンケートの実施により、整備への意向や現状を調査した。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 関連事業の採択に向けた地元意向の取りまとめ等を市が中心となり実施することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 関連事業の内容周知、地元説明を行うことにより地権者の理解、採択同意を得ていく。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 関連事業推進により農地の集積、集約化が図られ農業生産性が向上する。 畑地かんがいを行うことにより農作物の多様性、生産性が向上する。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 年度毎の事業費(負担金)は国県の定めた補助制度に基づいた額になっている。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 行政と受益者との管理区分は必要であるが、農業、農村の振興を図るため、農村環境を保全していくためには、地域への支援は必要である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 公平性の改善
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)
 農業・農村の振興、農業経営の安定化を図るためには、関連事業の推進は必要であり、引き続き定期的な周知、説明会等により地権者の理解を得て、整備を推進していく。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 水田と畑の灌漑用水の安定した確保と供給は農業生産に重要である。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年6月7日	点検日								
事務事業名	土地改良基盤整備事業			事業類型	工事										
担当部課G等	産業部 農政課		農村整備G	記入者氏名	田上 慎司										
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり											
	施策名			1 活力ある農業の振興を図る											
	基本事業名			5 生産基盤の整備と保全											
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	05	事業名	土地改良基盤整備事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)								
事業概要															
【全体概要】 農業農村の振興を図るために、土地改良事業(農道、かんがい排水、溜池等)の整備を行う。また、県営事業(農道、かんがい排水路、区画整理、排水機場、農業活動拠点施設)で行う事業費の一部を負担する。事業費は、農道、かんがい排水、溜池等の設計委託費、改良工事費、県営事業						【業務内容】 ①地元からの要望・陳情を採択 ②実施計画への計上 ③補助の法手続き ④補助事業の採択後に実施設計 ⑤借地契約及び工事説明会									
1 現状把握の部(DOシート)															
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移															
										単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)											
農業振興地域の農用地 農業用排水路、農業用溜池				農用地面積		ha	2446.	2446.	2446.	2446.	2446.				
				排水路・溜池整備箇所数		箇所	69.	97.	89.	89.	89.				
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)											
事業内容検討(県、改良区等との打合せ他) 法手続き(調査、説明会実施、同意取得、議会承認等) 実施設計委託、工事等				農用地整備面積		ha	1925.	1925.	1925.	1925.	1925.				
				排水路整備延長		m	900.	1010.	1180.	1465.	1020.				
				排水路横断整備箇所数		箇所	19.	22.	17.	11.	19.				
				溜池整備箇所		箇所	1.	0.	0.	1.	1.				
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)											
農村としての住環境を整え、排水路整備による乾田化や溜池整備による用水の安定供給により、農地の耕作利便性が向上し農業生産基盤の強化になる。				農用地整備率		%	78.7	78.7	78.7	78.7	78.7				
				排水路整備率		%	100.	100.	100.	100.	100.				
				排水路横断整備箇所数		箇所	19.	47.	40.	40.	40.				
				溜池整備済箇所数		箇所	35.	36.	36.	36.	36.				
(2)投入量の推移															
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費							
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0				
	内訳	県支出金	千円	33,840	15,110	18,389	30,090	41,080	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	12,800	39,000	41,600	0	0	0				
		その他	千円	0	0	10,000	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	61,874	50,233	50,279	67,728	77,509	0	0	0				
事業費計(A)		千円	95,714	65,343	91,468	136,818	160,189	0	0	0					
人件費	正規職員	千円	4,153	0.80人	5,098	0.94人	5,098	0.94人	5,098	0.94人					
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人					
	人件費計(B)	千円	4,153	5,098	5,098	5,098	5,098								
投入量(A)+(B)		千円	99,867	70,441	96,566	141,916	165,287								
(3)事務事業の環境変化・市民意見等															
①事業を始めたきっかけ		土地改良施設に対する地元団体(土地改良区等)や受益者からの要望による。													
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?		国、県の予算措置が要望満額つかず、事業期間延伸、事業費増大の傾向にある。受益者の高齢化により農地、農業施設の管理不十分で、耕作放棄地増加の問題がある。土地改良法改正により、環境配慮した整備が義務化されている。													
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		早期の事業竣工や新規地区の要望(年度予算への要望)													

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) それぞれ管轄を決めて整備を進めているので重複して整備することは無い。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 破損箇所の影響で生じていた欠点整備により解消され、排水流域全体の受益地における排水機能が回復される。
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農業施設において老朽化、破損し、排水機能が低下した箇所を整備している。風化等による経年劣化があり、局所改良土地改良等による管理に限界がありことから廃止・休止は難しい。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 既に低コストで最大の効果を生み出す施工を進めている。一部は委託し事業を行っている。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めている事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 農業用施設の保全・修繕であるため受益者に対して負担を求めるものではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) →

<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善
<input type="checkbox"/> 公平性の改善		

現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 老朽・破損箇所が多数残っているため、危険とされる箇所においては前倒しで施工する必要性が生じる。且つ機能診断していない箇所も多数あるので、工事施工と機能診断も並行して進める必要性がありコストの増が必要である。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			×
	低下			×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 昭和30年から60年代施行の土地改良施設が多数あるため、危険とされる施設においては安全確保の為に改修する必要がある。機能状態の調査を行い、診断結果を踏まえた改善を計画的に実施する必要性がありためコストの増は避けられない。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	6月	1日			
事務事業名	経営所得安定対策事務費				事業類型	団体補助	点検日	年	月	日	
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備グループ	記入者氏名	鬼沢 静香							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり						□ 実施計画対象事業			
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名	1 農業経営の発展									
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	08	事業名	経営所得安定対策事務費	根拠法令	米政策改革基本要綱
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 S53 年度～)					□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 経営所得安定対策制度の周知する。						【業務内容】 経営所得安定対策制度のもと、米の需給調整の円滑な実施を促し米価と農業経営の安定を図る。					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
水稻生産農家	水稻生産農家戸数	戸	4063.	4052.	4038.	4030.	4030.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
経営所得安定対策制度の周知のため、全農家へパンフレットを配布し、地区、団地組合の説明会を実施した。	水田総面積	ha	1956.	1930.	1930.	1930.	1930.		
	説明会開催数	回	5.	5.	5.	5.	5.		
	計画書提出件数	件	1440.	1491.	1540.	1550.	1550.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
水稻作付可能な生産数量目標の達成及び農業経営の安定化を図る。	水稻作付率=(実施水稻作付面積/計画水稻作付面積)	%	119.7	118.6	115.	110.	105.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
			0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	7,747	7,552	7,552	7,552	7,552	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	722	921	935	997	997	8,487	
	事業費計(A)	千円	8,469	8,473	8,487	8,549	8,549	8,487	
人件費	正規職員	千円	6,950	5,824	5,824	5,824	5,824	1,52人	0.94人
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人
	人件費計(B)	千円	6,950	5,824	5,824	5,824	5,824		
投入量(A)+(B)		千円	15,419	14,297	14,311	14,373	14,373		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ	生産調整達成率を向上させるため対象農家を個別に推進した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	経営所得安定対策制度は生産した数量に対しての補償制度である。米の所得補償対象者は、生産数量目標達成者であるため戸別推進がなくなった。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	長年の生産調整事業の実施にも関わらず、米の価格下落が続き農家収入が減少し、制度に加入する農家からはその実効性が問われている。								

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="checked" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input checked="checked" type="checkbox"/> 削減(事業費 8,842 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価 有効性 評価 効率性 評価 公平性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由は何ですか？●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="checked" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 経営所得安定対策制度は、農作物の所得を補償する制度であり、この制度を運営するに当たり、市が主体となってこの事業を行うことは妥当である。
	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="checked" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 当初の見通しに沿った成果となっている。水稻生産農家全体を対象としているため、一部の対象者に限定されていない。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="checked" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="checked" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の事業で似ているものはない。また、この事業を廃止又は休止した場合、経営所得安定対策制度の円滑な運営ができなくなる。
	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="checked" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="checked" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 経営所得安定対策制度の元に行っている事業のため、事業費及び人件費の削減余地はない。
	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなぜですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="checked" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 経営所得安定対策制度の元に行っている事業のため、受益者負担は求めない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="checked" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 																								
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="checked" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="checked" type="checkbox"/> 現状維持)																								
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 食糧の安定供給と地域農業農村継続に必要である。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	1日			
事務事業名	経営所得安定対策奨励補助事業				事業類型	補助金						
担当部課G等	産業部 農政課		農村整備グループ		記入者氏名	鬼沢 静香						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画対象事業					
	施策名		1 活力ある農業の振興を図る									
	基本事業名		1 農業経営の発展									
予算科目	一般会計	款	05	項	01	目	08	事業名	経営所得安定対策奨励補助事業	根拠法令	米政策改革基本要綱	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S52 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要												
【全体概要】 水田農業の構造改革を進めるため、転作団地を中心とする生産性及び品質の向上を目指した転作実施者に対して、市転作補助金を交付し、米の生産調整の円滑な推進を図る。						【業務内容】 農業者が作成する営農計画書に基づき現地確認を実施し、転作の形態及び転作面積に応じて補助金を交付する。						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
水稲生産農家						水稲生産農家戸数	戸	4063.	4052.	4038.	4030.	4030.
						水田総面積	ha	1956.	1930.	1928.	1927.	1927.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
現地確認結果に基づく転作実施内容及び地域の活動状況に応じて転作奨励補助金を交付した。						補助金交付件数	件	1193.	1155.	1162.	1206.	1167.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
農家自らが生産調整のための転作に主体的に取り組むことにより農業経営の安定を図る。また、個々の農家が生産目標を達成できるようにする。						生産調整実施面積	ha	482.	489.	490.	490.	490.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	57,074	61,117	60,800	58,700	63,250	60,800				
事業費計(A)		千円	57,074	61,117	60,800	58,700	63,250	60,800				
人件 費	正規職員	千円	3,432	0.75人	5,824	0.94人	5,824	0.94人	5,824	0.94人		
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人		
	人件費計(B)	千円	3,432	5,824	5,824	5,824	5,824	5,824				
投入量(A)+(B)		千円	60,506	66,941	66,624	64,524	69,074					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			昭和53年から米の生産調整(減反)政策、平成23年度からは農業者戸別所得補償制度が実施され、平成25年度から経営所得安定対策制度に名称が変更になった。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			これまでの米の減反政策に、水田を活用して飼料用米・新規需要米等の戦略作物を推奨し、食糧自給率の向上を目指す施策となった。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			水稲以外の作物の生産を増加させるには、圃場の維持管理や整備等が重要である。また、最近の異常気象等による単収低下及び品質低下が顕著で、これらの克服が課題となっている。									

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input checked="" type="checkbox"/> 削減(事業費 60,800 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的・妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市が実施することによって、農業経営の安定と生産力の確保を図るとともに、食糧自給率の向上と農業の多面的機能の維持を促す。類似の事業を実施している民間事業者はない。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 当初の見通しに沿った内容となっている。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはない。また、廃止又は休止した場合、対応は不可能である。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象として、その差額を交付している事業のため、事業費及び人件費の削減余地はない。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない。負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象として、その差額を交付している事業のため、受益者負担を求めない事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 食糧の安定供給と地域農業農村継続に必要である。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	6月	6日
事務事業名	穀物消費推進事業				事業類型	事業の推進	点検日	年
担当部課G等	産業部 農政課	農村整備グループ	記入者氏名	秋山 雅弘				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	1 活力ある農業の振興を図る						
	基本事業名	2 安全な食料の安定供給						
予算科目	一般会計	款 05	項 01	目 08	事業名 穀物消費推進事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要								
【全体概要】 米の消費拡大を目的とした米粉の活用や、その他穀物類の作付・消費拡大を図る。				【業務内容】 米粉パン及びライスピザ及び米ゲルデザートを学校給食に提供し、原材料費の差額を負担する。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市内小中学校の児童生徒(教職員含む)	児童生徒数	人	0	4714	4700	4700	4700	
			0	0	0	0	0	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
市内学校給食において、児童生徒(教職員含む)4,714人を対象に、米粉パンを9回、ライスピザを1回提供し、学校給食における1食当たりの差額分合計1,079,801円を補助した。	米粉パン実施回数	回	0	9	9	9	9	
	ライスピザ実施回数	回	0	1	1	1	1	
	補助金額	千円	0	1080	2102	2102	2102	
			0	0	0	0	0	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
米を使用した加工食品を提供することにより、米の消費拡大を図るとともに、米を食べる機会を増やす。	米粉パン提供回数	個	0	41356	37600	37600	37600	
	ライスピザ提供回数	個	0	4865	4700	4700	4700	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	1,080	2,102	2,102	2,102	
	事業費計(A)	千円	0	1,080	2,102	2,102	2,102	
人件費	正規職員	千円	0	0.00人	5,824	0.94人	5,824	0.94人
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人
	人件費計(B)	千円	0	5,824	5,824	5,824	5,824	
投入量(A)+(B)		千円	0	6,904	7,926	7,926	7,926	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	平成26年度より、米の消費拡大を目的に米を使用した加工食品の推進をした。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	学校給食で基本パン(小麦粉)の回数を減らし、米粉パンを提供することにより、米原料食品を食べる機会が増加した。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	児童生徒から、基本パンに比べ、米粉パンはもちもちして甘みがありおいしいので継続的に提供を、との声がある。							

(4) 前回()の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の基幹産業である稲作農業、米の消費拡大を図ることと、米を食べる機会を増やすために妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■ 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 児童生徒数によるため見通しに沿っている。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 食生活の変化により、ごはん食が少なくなっているが、給食での米の献立減少は、米を食べる機会の減の市の稲作農業維持の、減少につながる懸念される。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 補助金の削減は、児童生徒の負担増につながる。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 学校給食において1食当たりの差額分を負担しているため適正である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 公平性の改善
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	7日		
事務事業名	身近なみどり整備推進事業					事業類型	委託				
担当部課G等	産業部 農政課	記入者氏名	島山 智光								
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					□ 実施計画 対象事業				
	施策名	4 健康で快適に過ごせる生活環境を保つ									
	基本事業名	2 自然と生活環境の保全									
予算科目	一般会計	款	05	項	02	目	01	事業名	身近なみどり整備推進事業	根拠法令	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 H27 年度～)					□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)			
事業概要											
【全体概要】 森林湖沼環境税を活用した「身近なみどり整備推進事業」により、荒廃した平地林や山林の手入れを進める。						【業務内容】 地域住民にとって快適で豊かな森林環境づくりを推進するため、地域住民の提案等による地域の整備目的に沿った森林づくりを行う。整備は市で実施する。県補助率10/10					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
森林面積	ha	1505.25	1505.25	1505.25	1505.25	1505.25	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
当該事業による事業費	千円	0.	2155.	0.	0.	0.	0.	
当該事業による整備面積	ha	0.	1.6	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
地域住民等による維持管理の継続	件	4.	5.	5.	5.	5.	0.	
当該補助事業による整備面積の拡大	ha	11.1	12.7	12.7	12.7	12.7	0.	
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	1,998	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	157	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	2,155	0	0	0	
人件費	正規職員	千円	0	0.00人	1,148	0.20人	0	0.00人
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人
	人件費計(B)	千円	0	1,148	0	0	0	
投入量(A)+(B)	千円	0	3,303	0	0	0		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	未整備森林における台風等による倒木災害防止や、森林(里山)の有する多面的機能発揮させる県補助事業を活用するため							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?	県の補助基準において、1haあたり90万円の事業費が補助金として交付されているが、整備事業を効果的に実施するためには、限られた補助金内で効率的な整備計画や事業設計を策定しなければならない。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	伐木の処分に要する費用を補助対象に加えること。							

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	9日		
事務事業名	中小企業振興対策事業				事業類型	負担金・補助金					
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光G		記入者氏名	牧野 宏美					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る								
	基本事業名		1 商業の振興								
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 中小企業振興対策事業	根拠法令	那珂市中小企業事業資金融資制度信用保証				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 自治金融・振興金融制度の利用者に対し、信用保証料及び利子の補給を行うことで、中小企業者の金利負担を軽減し、制度の利用効果を高める。 また、市中小企業労働者共済会の会員が各種資金の融資を受けた際、信用保証料の補給を行い、中小企業労働					【業務内容】 中小企業経営者や中小企業労働者への補助金交付事務 計12,291,157円 ・信用保証料補助(自治+振興) 9,398,157+0=9,398,157円 ・利子補給(自治+振興)2,893,000+0=2,893,000円 ・信用保証料補助(共済会) 0円						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
・市内中小企業の経営者・市内在住の中小企業労働者		事業所数(経済センサス/H26基礎調査)				箇所	1953.	2009.	2009.	2009.	2009.
							0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
・自治金融・振興金融の融資斡旋委託 ・(自治・振興)信用保証料補助及び利子補給 ・(共済会)信用保証料補助		斡旋件数(自治・振興金融制度)				件	63.	86.	86.	86.	86.
		信用保証料補助金(自治・振興金融制度)				千円	11146.	9398.	12505.	12505.	12505.
		利子補給額(自治・振興金融制度)				千円	3697.	2893.	4165.	4165.	4165.
		信用保証料補助額(中小企業労働者共済会融資制度)				千円	0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
市内中小企業の経営安定化及び市内在住中小企業労働者の福祉向上を図り、地域経済の発展につなげる。		貸付件数(自治・振興金融制度)				件	0.	0.	0.	0.	0.
		年間商品販売額(H26商業統計調査)				万円	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.
		製造品出荷額等(従業者4人以上)				万円	5079690.	5079690.	5079690.	5079690.	5079690.
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	内	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	410	480	480	480	480	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	14,433	11,812	21,078	19,992	19,992	0	0	0	
人員	正規職員	千円	785	1,070	1,070	1,070	1,070	0	0	0	
費	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人員費計(B)	千円	785	1,070	1,070	1,070	1,070	0	0	0	
投入量(A)+(B)		千円	15,628	13,362	22,628	21,542	21,542				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		昭和59年6月制定の「那珂市中小企業事業資金融資あっ旋規則」に基づく“自治金融・振興金融制度”の利用効果向上を図るため、市内中小企業の経営者に対する支援を開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		長引く経済低迷や東日本大震災の影響等により、売上高・利益率の減少や事業再建資金の調達難など、中小企業を取り巻く経済情勢は依然として厳しい状況にある。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		自治金融・振興金融制度は、他制度と比較して融資申込から貸付決定に要する期間が長いこと、資金調達の迅速性にやや欠ける面があり、利用者数の伸び悩みの一因となっているのではないか(那珂市商工会事務局)									

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み						
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)				
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	経営に関し商工会が主となり、指導・相談を行っている。				
		(予算への反映)				
		<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費)	0	千円	0	千円
0	千円					
0	千円					
		<input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 50px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費)	0	千円	0	千円
0	千円					
0	千円					
		<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし				

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 中小企業に補助金を支出し金利負担の軽減及び事業資金調達の円滑化を支援することは、中小企業の事業活動の維持及び活性化を促進する上で必要であり公共関与については妥当性がある。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 中小企業労働者共済制度は十分に認知されていない面があるため、商工会や市内金融機関と連携しながら企業に対し周知をお行って利用推進を図っていく必要がある。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事務事業がないため統廃合の余地はない。また中小企業を取り巻く情勢は依然として厳しいため、事業の廃止、休止は企業の事業資金調達に影響が出る可能性が高い。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 制度利用の実績に応じて補助金額が決まるので、成果と事業費は比例するため成果を下げずに事業費を削減する余地はない。制度斡旋事務は那珂市商工会に委託している。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 制度利用者は、必要経費である手数料を自己負担していることから、適正である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 関係機関との連携を密にし、一層の制度のPRIに努めるとともに、利用者のニーズに沿った利便性の向上を図る。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 1次評価と同じ																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	9日
事務事業名	商工会補助事業				事業類型	補助金			
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光G		記入者氏名	牧野 宏美			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画対象事業		
	施策名		2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る						
	基本事業名		1 商業の振興						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 商工会補助事業	根拠法令			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】 中小企業者の経営改善及び近代化・合理化を図るため、那珂市商工会に対し補助を行い、各種指導・相談業務の強化を支援し、中小企業の活性化を促進する。					【業務内容】 那珂市商工会への補助金交付事務 計 13,000,000円 ・人件費補助 11,436,050円 (商工会等職員設置費等事業 8,039,436円、商工会等リーディング事業 3,396,614円) ・事業費補助 1,563,950円 (総合振興費 762,312円)				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・市内中小企業の経営者(商工会員)			事業所数(経済センサス調査/H26基礎調査)			箇所	1953.	2009.	2009.	2009.	2009.
							0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
・運営補助及び幹旋委託 (人件費補助、事業費補助)			商工会会員数			名	1112.	1103.	1103.	1103.	1103.
			商工会支部・部会等事業開催回数			回	42.	42.	42.	42.	42.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
・経営の改善及び近代化、合理化を図る ・競争力の向上を図る ・地域雇用の創出、安定化を図る			金融幹旋事業(貸付件数)			件	182.	218.	218.	218.	218.
			指導及び相談件数			件	1968.	2438.	2438.	2438.	2438.
			年間商品販売額(H26商業統計調査)			万円	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.
			製造品出荷額等(従業員4人以上)経済センサス/H26基礎調査			万円	5079690.	5079690.	5079690.	5079690.	5079690.
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	地	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	所	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	0	
	事業費計(A)		千円	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	0	
人件費	正規職員	千円	550	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	0.10人	0.20人	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人	
	人件費計(B)	千円	550	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010	0.10人	0.20人	
投入量(A)+(B)		千円	13,550	14,010	14,010	14,010	14,010	14,010			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			商工会の活動をより活性化させることで、市内中小企業者の振興を図ることができる。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			近年、商工会の会員数の減少等により財政運営は厳しくなっており、県商工会連合会への人事一元化による正規職員数の適正化や積立金等の取り崩しによる財政確保など、一層効率的な団体運営に努めている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			商工業活性化のため、今後も継続して支援を行なってほしい(那珂市商工会)								

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 那珂市商工業振興計画に基づく施策を中心に、事業内容等商工会との連絡・調整を行っている。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 商工会は地域商工業の振興発展に中心的役割を担っており、また、市商工業振興計画に基づく施策事業の実施主体にもなっているため、市の関与については妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？ 那珂市商工業振興計画に基づく各施策を商工会を中心に商工業者と共に取り組むことで、地域商工業の振興及び地域経済の活性化が図られる。
効率性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ 類似事務事業がないため統廃合の余地はない。また市商工業振興計画に基づく施策の実施主体として団体の役割が大きいので、事業廃止や休止した場合の影響は大きい。
公平性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 事業費＝補助金なので、市の財政状況や商工会事業の実施状況を踏まえながら、今後も継続的に協議していく必要がある。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 平成21年度より市補助金の積算根拠を明確化・ルール化している。 会員は年会費を自己負担している。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → [目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善]
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 那珂市商工業振興計画に基づく施策の実施主体であり、また、商工業振興の中心的役割を担うことから、商工業者のニーズの把握に努め、効率的・有効的な活動と自主性を図る。
 また運営補助から事業費補助へを見直しを検討する。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			×
	低下			×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)
 那珂市商工業振興計画に基づく施策の実施主体であり、また、商工業振興の中心的役割を担うことから、商工業者のニーズの把握に努め、効率的・有効的な活動と自主性を図る。
 また運営補助から事業費補助へを見直しを検討する。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	6月	9日			
事務事業名	がんばる商店街支援事業			事業類型	活動支援						
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光G	記入者氏名	牧野 宏美							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり						■ 実施計画 対象事業			
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る									
	基本事業名	1 商業の振興									
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 がんばる商店街支援事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要											
【全体概要】 意欲的な商業者団体等の取り組みへの支援を行い、個別店舗の魅力及び競争力の向上やまちなかの賑わい創出を図るとともに、その成果を他へ波及させ、商業者全体の底上げを図る。				【業務内容】 那珂市商工会や市内商業者・任意団体等に対する補助金交付事務 計 1,000,000円 ・補助率 市:1/3(ただし上限額 500,000円)、事業主体:2/3 ・補助期間 :1年間(最大3年間まで継続可能)							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
・市内商業者(卸売業・小売業・サービス業・飲食業)		事業所数(経済センサ調査/H26基礎調査)				箇所	970.	968.	970.	970.	970.
							0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
・資金補助 (事業費補助)		商業活性化事業取組団体数				団体	2.	2.	2.	2.	2.
		商業活性化イベント開催回数				回	10.	8.	10.	10.	10.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
・個店の店舗力(商品力・サービス力)を強化し、来店者数や売上高の回復・増加を図る。・意欲的な商業者による取組み拡大により、市内外からの来街者数を増加させ、地域商業の活性化を図る。		年間商品販売額(H26商業統計調査)				万円	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.
		商工会員数の内、商業部会員数(卸売業、小売業)				名	250.	232.	250.	250.	250.
		商工業買取数の内、サービス業部会員数(飲食業、サービス)				名	375.	371.	375.	375.	375.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	500	300	1,000	1,000	1,000	1,000			
	事業費計(A)	千円	500	300	1,000	1,000	1,000	1,000			
人件費	正規職員	千円	275	0.05人	560	0.10人	560	0.10人	560	0.10人	
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
	人件費計(B)	千円	275	560	560	560	560	560			
	投入量(A)+(B)	千円	775	860	1,560	1,560	1,560	1,560			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		那珂市には商店街の形成がなく、商店街を中心とした活性化策が機能しないため、個店の魅力及び競争力を向上させる施策として、分散型商業地域でも効果を期待できる「一店逸品事業」に取り組むこととなった。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		市内の小売業者は、大規模小売店舗等の市内・近隣地域への出店等の影響により、減少傾向が顕著である。また、商業を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、依然として復調の兆しを見出せていない。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		商業活性化のため、今後も継続して支援を行なってほしい(那珂市商工会)									

(4)前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み													
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) <p>商工会には、参加事業者の拡大及びPR等の活用を図るよう促した。</p>											
(予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td><td style="border: none; text-align: right;">千円)</td></tr> <tr><td style="border: none; text-align: right;">(人件費)</td><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td><td style="border: none; text-align: right;">千円)</td></tr> <tr><td style="border: none; text-align: right;">(人件費)</td><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし </td> </tr> </table>			<input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td><td style="border: none; text-align: right;">千円)</td></tr> <tr><td style="border: none; text-align: right;">(人件費)</td><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td></tr> </table>	0	千円)	(人件費)	0	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td><td style="border: none; text-align: right;">千円)</td></tr> <tr><td style="border: none; text-align: right;">(人件費)</td><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td></tr> </table>	0	千円)	(人件費)	0	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td><td style="border: none; text-align: right;">千円)</td></tr> <tr><td style="border: none; text-align: right;">(人件費)</td><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td></tr> </table>	0	千円)	(人件費)	0									
0	千円)												
(人件費)	0												
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td><td style="border: none; text-align: right;">千円)</td></tr> <tr><td style="border: none; text-align: right;">(人件費)</td><td style="border: 1px dashed black; width: 60px; text-align: center;">0</td></tr> </table>	0	千円)	(人件費)	0									
0	千円)												
(人件費)	0												
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし													

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の商業振興施策を実施する上で、補助金を支出することは効果的な手段であることから、公共関与は妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <ul style="list-style-type: none"> ●当初の見直しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？ 	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 補助対象団体が補助金を受け主体となって実施されているため、事業内容の検証や把握方法に不十分な点があるので、今後の改善に余地がある。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため統廃合の余地はない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 <ul style="list-style-type: none"> ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ 	<input type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費については、運営や財源を参加事業者主体の事業(商工会単独事業)への移行を図っていくことで、段階的に削減していくことを模索する必要がある。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <ul style="list-style-type: none"> ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない。負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 参加事業者は必要な負担金を那珂市商工会へ支払っている。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;"> <p> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 </td> <td style="padding: 0 10px;">}</td> <td style="padding: 2px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 </td> </tr> </table> </p> <p> <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) </p> </div> <div style="width: 50%; border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px;"> <p style="text-align: center;">改革・改善による期待成果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p> 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 支援対象事業の継続と事業展開並びにPR等による成果の活用を図る。 補助対象団体とより連絡を密にし、事業内容の把握と検証に努め、地域産業の活性化を図る。 </p>		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	}	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	}	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善																							
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) <p> 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 支援対象事業の継続と事業展開並びにPR等による成果の活用を図る。 補助対象団体とより連絡を密にし、事業内容の把握と検証に努め、地域産業の活性化を図る。 </p>																									
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																									
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																									

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	6月	9日			
事務事業名	特産品ブランド化推進事業			事業類型	活動支援						
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	牧野 宏美							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり							
	施策名			2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る							
	基本事業名			1 商業の振興							
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 特産品ブランド化推進事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 特産品の付加価値向上及び競争力強化を図るため、品目ごとに定める認証基準に適合する「那珂市特産品ブランド」を認証して、確かな品質・技術を伝える地場産品である証をアピールし、消費者の信頼を高め、地場産業の活性化を図る。				【業務内容】 那珂市特産品のブランド認定システムの運営 ・推進協議会及び認証委員会の運営 ・認証品パンフレットの作成 ・認証品のPR活動 等							
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・市内特産品を生産及び加工する事業者			商工会部会会員数(商業・サービス業)			人	625.	625.	625.	625.	625.
							0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
H26活動実績 ・認証マーク募集及び決定 ・認証品募集及び認定(6商品)			申請件数			件	9.	10.	10.	10.	10.
			認証品PR実施回数			回	19.	22.	22.	22.	22.
H27活動実績 ・認証品募集及び認定(10商品)							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
事業者に対し、特産品の意識啓発を図り特産品の積極的な掘り起し及び開発を促進させ、特産品のイメージ向上と販路拡大に繋がり、市の産業の発展に繋がる。			認証件数			件	6.	10.	10.	10.	10.
			年間商品販売額(H26商業統計調査)			万円	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.	6656779.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	1,000	700	0	0	0	0			
	県支出金	千円	2,340	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	10	10	10	0			
	一般財源	千円	116	71	1,290	1,290	1,290	0			
	事業費計(A)	千円	3,456	771	1,300	1,300	1,300	0			
人件費	正規職員	千円	1,537	0.95人	1,570	0.30人	0	0.00人	0	0.00人	
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
	人件費計(B)	千円	1,537	1,570	0	0	0	0			
投入量(A)+(B)		千円	4,993	2,341	1,300	1,300	1,300	1,300			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		那珂市における地域資源を活用した商品づくり、それらに関する情報発信及び維持向上を図るため、地域資源のブランド化を効率的に推進し、地場産業の活性化に資するため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		那珂市として地域資源の発掘と市民への周知が必要とされている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		ブランド認証された業者から、「売り上げアップにつながった」、「店頭に並んだ際に同様な商品と差別化が図られた」などの意見をいただいている。									

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の地域資源を活用した商品の特産品ブランドとして認証することで、地場産業の活性化を図る。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成26年度は6商品、平成27年度は10商品が認証され、今後も地域産業の推進を図っていく。
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため統廃合はできない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市のブランド力向上のためには削減の余地はない。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 事業者の意識向上や新たなブランド商品開発を目的としているので、事業者の負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) 改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)																						
改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></tbody></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 那珂市の魅力向上と知名度アップにより市民の拡大を図る重要なツールである。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会)が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	9日			
事務事業名	産業祭補助事業				事業類型	補助金						
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	小泉周司						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画対象事業					
	施策名		2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る									
	基本事業名		1 商業の振興									
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	02	事業名	産業祭補助事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 商工会や農業団体、事業者などが連携し、地元農産物や商工業製品等の展示販売し、市内の産業をPRする産業祭開催の支援を実施						【業務内容】 産業祭実施のための補助						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び近隣市町村民						人口	人	0	55647	55300	55100	55000
								0	0	0	0	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
実行委員会を開催し実施内容の決定、その他に市内及び近隣市町村、報道機関等にPRする。						実行委員会	回	0	2	3	3	3
								0	0	0	0	0
								0	0	0	0	0
								0	0	0	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市内の産業を広く紹介し、事業者・生産者と消費者の交流機会を創出するとともに、多くの人に人に来場してもらう。						来場者	人	0	7000	8000	8000	8000
						出店数	事業者	0	51	55	55	55
								0	0	0	0	0
								0	0	0	0	0
(2) 投入量の推移												
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	0	1,427	2,900	4,200	4,200	0				
事業費計(A)		千円	0	1,427	2,900	4,200	4,200	0				
人件費	正規職員	千円	0	0.00人	1,010	0.20人	1,010	0.20人	1,010	0.20人		
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人		
	人件費計(B)	千円	0	1,010	1,010	1,010	1,010	1,010				
投入量(A)+(B)		千円	0	2,437	3,910	5,210	5,210					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			商工会、農業団体、事業者などが連携をすることにより、地元農産物や製品などを多くPRすることができるため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			近隣市町村でも同様のイベントが行われ盛り上がりを見せている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			イベント参加を通して同業種との横の連携などの良い機会となったとの意見をいただいている。									

(4) 前回()の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)															
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 業種の異なる団体のイベントであるとともに、市の事業PRも多く含んでいるので妥当である。
有効性評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 実行委員会の開催回数を増やすことにより、各団体との連携がとれ事業内容が充実になり、地域振興及び地域経済の活性化が図れる。
有効性評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため統廃合はできない。
効率性評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 各団体からの負担金や出店料を増額するなどして事業費削減の余地はある。
公平性評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めない事業ではない。負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 地域産業の振興と市民生活の向上に資することを目的としているので、負担を求めない事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)
 関係団体と連携し、事業内容の充実及び新たな事業の進展、各団体の自主性を図る。
 関係機関に対して、負担金の増額をお願いしていく。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 関係団体と連携し、事業内容の充実及び新たな事業の進展、各団体の自主性を図る。
 関係機関に対して、負担金の増額をお願いしていく。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年6月9日	点検日					
事務事業名	プレミアム付商品券発行事業			事業類型	委託							
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ		記入者氏名	小泉 周司							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり					□ 実施計画対象事業					
	施策名	2 地域に活力をもたらす商工業の振興を図る										
	基本事業名	1 商業の振興										
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 02	事業名 プレミアム付商品券発行事業	根拠法令						
事業期間	■ 単年度のみ			□ 単年度繰返 (開始年度 年度～)		□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)						
事業概要												
【全体概要】 「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用して、那珂市内の参加事業所で共通に使用できる商品券を販売することにより、市民の購買意欲を喚起し、地域商業の活性化と地域経済の振興を図る。				【業務内容】 購入価格1万円で1万2千円分のお買い物ができる商品券を販売し、市内事業所で使用していただく。								
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
市民及び市内勤務者			人口		人	55887.	55647.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
1セットで1万2千円分使用できる金券を1万円で販売する			販売数		セット	0.	25757.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
購入した金券をお店で利用した利用率			利用率		%	0.	99.7	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	81,374	0	0	0	0	0		
	内	県支出金	千円	0	12,000	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	0	96,331	0	0	0	0	0	0		
人件費	正規職員	千円	0	0.00人	1,460	0.30人	0	0.00人	0	0.00人		
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	1.00人	0	0.00人	0	0.00人		
	人件費計(B)	千円	0	0	1,460	0	0	0	0	0		
投入量(A)+(B)		千円	0	0	97,791	0	0	0	0	0		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			国の地域活性化の政策により27年度だけの事業									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			国の政策としては終了している									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			商品券の販売方法として、商品券を買いに行けない交通弱者への対応を求める声があった									

(4) 前回()の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではない、市が実施する理由は何ですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国や県の補助金を利用しての事業であり、地域活性化に結び付けるためにも市が主体となって実施する必要がある
	有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ ●対象数が増加している場合、現状とおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？
効率性 評価		③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？
	公平性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？
		⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善
---	---

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
単年度の事業であり、当初の目的を達成したため終了する

改革・改善による期待成果

成果	向上 維持 低下	コスト		
		削減	維持	増加
			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入)

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	8日		
事務事業名	観光事務費					事業類型	活動支援	点検日	年	月	日
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ	記入者氏名	主事 寺門 大輝							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり						□ 実施計画 対象事業			
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る									
	基本事業名	3 観光情報の発信									
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 観光事務費	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)										
事業概要											
【全体概要】 定住人口の増加が伸び悩むなか、「地域産業の活性化」や「郷土愛の醸成」を目的とした観光振興をすすめることで交流人口増加を図る。					【業務内容】 観光振興を図るため、観光PR用パンフレット作成、各種観光キャンペーンや観光事業を共同で行う協議会への参加。						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
観光客及び市民			人口	人	55887.	55647.	55300.	55100.	55000.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
観光PRの参加、観光パンフレットの作成、参画・連携など観光事務事業の遂行に必要なツールの活用をすることで、観光資源のPRを行う。			HP更新回数	回	20.	99.	100.	100.	100.		
			パンフレット印刷部数	冊	17000.	17000.	17000.	17000.	17000.		
			加入協議会・委員会数	団体	4.	4.	4.	4.	4.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
・観光客の増加を目指す。			市HP閲覧者数(年間)	回	469744.	2049743.	2050000.	2050000.	2050000.		
			年間観光入込客数	人	279500.	290400.	293000.	295000.	300000.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
					0.	0.	0.	0.	0.		
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	1,961	3,725	3,725	3,725	3,725	0			
	事業費計(A)	千円	1,961	3,725	3,725	3,725	3,725	0			
人件 費	正規職員	千円	1,770	0.35人	2,275	0.45人	2,275	0.45人	2,275	0.45人	
	正規外職員	千円	39	0.20人	150	0.10人	150	0.00人	150	0.00人	
	人件費計(B)	千円	1,809	2,425	2,425	2,425	2,425	2,425			
投入量(A)+(B)		千円	3,770	6,150	6,150	6,150	6,150				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			那珂市の地域資源を活用した観光振興を図るため、各種観光情報を発信するために必要な事務が必要となった。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			茨城県をはじめ県内各自治体も観光振興事業には、力を入れており市のブランド力向上の為に観光施策に対する重要度が増している。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			積極的に観光キャンペーンやマスメディアを利用し、那珂市をアピールする機会を設けるようにとの声がある。								

(4)前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回は評価結果を踏まえた見直し内容) 市ホームページの観光部門から観光協会へのリンクを充実させることにより、連携して市観光事業の周知を行った。
		(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text" value="0"/> 千円) (人件費 <input type="text" value="0"/> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 那珂市の産業と市のイメージアップのために、観光振興を図ることが目的なので、事業者として成り立ちにくい分野であるため、市が主体となり展開することは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 観光資源の効果的なPRを行い、市民への郷土愛を育み、観光客には良い印象を持ってもらうことで、観光客の増加が図れる。
評価	③ 類似事業との統廃合余地 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性はある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) イベントの実施や公園管理等による観光客の増加を見込んだ類似事業はあるが、観光振興全般を主体的に行い、市外へ発信できる事業者はいないため統廃合の余地はない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は観光振興に必要な事務を効率的に行っている。また、人件費についても、職員がかかわる事務として必要であるため削減余地がない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市の観光振興に必要な事務経費のため、特定の受益者がいるものではない。

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 既存の観光資源を充実させ、市ホームページや市広報誌及び市観光協会と連携し県内外に向けて情報発信を行い、市の知名度と魅力向上を図る。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 既存の観光資源を充実させ、市ホームページや市広報誌及び市観光協会・商工会と連携し県内外に向けて情報発信を行い、市の知名度と魅力向上を図る。 地方創生の観点からも拡充が必要である。	※担当部長が記載																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	8日		
事務事業名	なかひまわりフェスティバル事業				事業類型	イベントの開催					
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	主事 寺門 大輝					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画 対象事業				
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る								
	基本事業名		1 観光イベントによる地域活性化								
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	なかひまわりフェスティバル事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 那珂総合公園にて、市の花である「ひまわり」をシンボルとしたイベント及び公園周辺の畑約4haに約25万本のひまわりを咲かせ、市民協働によるイベントを開催する。						【業務内容】 イベント及び花火大会の運営補助及びひまわり畑の作付け					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
観光客及び市民	来場者数	人	50000	38000	50000	50000	50000	
	人口	人	55887	55647	55300	55100	55000	
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
運営主体となる実行委員会への補助金支出、実行委員会への出席。ひまわりの耕作委託に関する事務。	ひまわり作付面積	ha	4	4	4	4	4	
	チラシ作成部数	部	35000	35000	35000	35000	35000	
	HP更新回数	回	20	18	20	20	20	
			0	0	0	0	0	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
・市民に那珂市の良さを知ってもらい郷土愛を育む・観光客の増加を目指す。	年間観光入込客数	人	279500	290400	293000	295000	300000	
	市HP閲覧者数(年間)	回	469744	2049743	2050000	2050000	2050000	
	参加団体数	団体	100	90	90	90	90	
			0	0	0	0	0	
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費	
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	13,270	12,984	13,065	13,054	13,054	0
人件費	正規職員	千円	2,045	0.40人	2,445	0.50人	2,445	0.50人
	正規外職員	千円	127	0.10人	150	0.10人	0	0.00人
	人件費計(B)	千円	2,172	2,595	2,445	2,445	2,445	
	投入量(A)+(B)	千円	15,442	15,579	15,510	15,499	15,499	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等								
①事業を始めたきっかけ	旧那珂町の花「ひまわり」(昭和60年制定、現在は市の花)を周知することにより、町をPRする手段として開始した。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?	PR活動やSNSの普及により、イベントが地域住民だけではなく市外・県外の住民に周知できるようになり、また道路網(高速道路)の発展により、市外から多くの観光客が訪れることができるようになった。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・夏のひまわりより秋のひまわりの方が珍しく興味深い。・夏のひまわりからは「ひまわりオイル」が搾取できる。							

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)															
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	参加者だけでなく、市内事業所へひまわりの種を配布するなど、イベントへの連携を深めた。	<input type="checkbox"/> 削減(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的・妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 地域住民に対する市の花「ひまわり」の周知とともに、商業の活性化を促し、市民活動紹介や市のPRをすることができる。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 民間団体(那珂市商工会)が主体の実行委員会を組織してフェスティバルが開催されるようになったことから、今後、さらなる参加団体の増加が期待できる。
評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないことから廃統合はできず、観光PRの場・市民交流の場・生涯学習発表の場等や観光客の減少につながることから廃止・休止はできない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) イベント内容の見直し等により事業費の削減は、魅力の低下による来場者数の減少につながる。また、人件費については、すでに実施主体を民間団体に移行していることから削減できる余地はない。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求めている事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めている事業ではない 参加団体は出店料として負担をしている。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

公平性の改善

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
 積極的な市観光PRを行うことにより、市内事業所が商工業発展に対する意欲を深めつつ、市民団体との連携と市民活動の活性化を図る。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下			×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)
 積極的な市観光PRを行うことにより、市内事業所が商工業発展に対する意欲を深めつつ、市民団体との連携と市民活動の活性化を図る。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	8日
					点検日				
事務事業名	団体補助事業				事業類型	補助金			
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	生田目 恵司			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名		3 観光情報の発信						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 団体補助事業	根拠法令			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要									
【全体概要】 那珂市の観光振興のため、各種イベントの主催・共催並びに広報活動・観光施設整備等を行う。					【業務内容】 ・観光協会の事務・各種イベント(市内観光地めぐり、月見の会、夜桜等)				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民及び観光客	人口	人	55887.	55647.	55300.	55100.	55000.
			0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・イベント主催・共催・後援 ・観光PR活動 ・観光地保全及び整備	主催・共催したイベント数	回	6.	6.	6.	6.	0.
	観光PR実施回数	回	38.	27.	30.	30.	30.
	観光協会HP更新回数	回	52.	99.	100.	100.	100.
	観光案内看板設置箇所数	箇所	22.	22.	22.	22.	22.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・市民に那珂市の良さを知ってもらい郷土愛を育む・ 観光客に当市を知ってもらい観光客を増やす	年間観光入込客数	人	279500.	290400.	293000.	295000.	300000.
	年間観光協会HP閲覧数	回	313956.	363339.	400000.	400000.	400000.
	観光協会会員数	人	247.	254.	270.	280.	290.
			0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	事業費計(A)	千円	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
人 件 費	正規職員	千円	2,490	2,020	2,020	2,020	2,020
	正規外職員	千円	516	150	150	150	150
	人件費計(B)	千円	3,006	2,170	2,170	2,170	2,170
投入量(A)+(B)	千円	6,506	5,670	5,670	5,670	5,670	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等							
①事業を始めたきっかけ	観光振興と文化の発展を図るため昭和31年に発足した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	多年にわたるPR活動やSNSの普及により、イベントが地域住民だけではなく市外・県外の住民に周知できるようになり、また道路網の発展により、市外から多くの観光客が訪れることができるようになった						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・さらなる観光案内看板の設置・ホームページへ最新情報の更新・自主財源の確保・法人化する						

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) ・観光案内看板リニューアル・ホームページへ最新情報の更新・グッズを作製し自主財源の確保に努めた (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input type="checkbox"/> 増加(事業費) 0 千円 (人件費) 0 千円 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではない、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していますか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 那珂市及び市内の観光資源をPRすることは、市の知名度を高め、観光客を誘客することで、産業の活性化にも寄与することになるので、市が支援することは妥当である
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 県内外への継続的な観光PR活動や観光資源・保全等を行うことにより、さらなる観光客の増加が見込まれる
評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 本事業に類似事業はあるが、事業裁量の余地が大きい本事業を廃止した場合、各種観光施策やPR事業が制限され、結果として集客の減少に繋がるため廃止することはできない
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない ■ 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 低コストの新たな手法によるPR活動等を行った場合、または、安定した歳入を見込める事業実施した場合に補助金を削減できる可能性はある。人件費については、すでに最小限度の人員で事業を行なっているため削減は難しい
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■ 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市民や観光客に向けて主にイベントやPR活動を行っているため、基本的には、市民や観光客に負担を求める事業ではない。ただし、八重桜まつり期間中に限っては、駐車場利用者に対し利用料を徴収しているほか、観光協会会員については年会費を徴収している

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 会員の増加・財源の創出を図ることにより自主財源を確保するとともに、県内外に向けて積極的な市観光PRを行うことで市のイメージアップと魅力向上を高める活動を検討する。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">⊗</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">⊗</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			⊗	低下			⊗
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持			⊗																				
	低下			⊗																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入) 会員の増加・財源の創出を図ることにより自主財源を確保するとともに、県内外に向けて積極的な市観光PRを行うことで市のイメージアップと魅力向上を高める活動を検討する。																							
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	8日		
事務事業名	清水洞の上整備事業				事業類型	施設の運営、維持管理					
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	小泉 周司					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画対象事業				
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る								
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用								
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 清水洞の上整備事業	根拠法令	清水洞の上公園設置及び管理に関する条例				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 豊かな自然が残る清水洞の上地区を、様々な生物が生息し、市民がくつろげ、自然を生かした自然体験学習ができる貴重な場所として整備を進める。					【業務内容】 ・清水洞の上自然を守る会との連携・公園の維持管理 ・第2次計画区域の整備						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民及び来園者				人口	人	55887.	55647.	55300.	55100.	55000.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
公園内の維持管理及び清水洞の上自然を守る会との連携				守る会の作業回数	回	17.	17.	17.	17.	17.	
				パンフレット作成枚数	枚	1800.	2000.	2000.	2000.	2000.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) ・清水洞の上地区を知ってもらい観光客を増やす・郷土愛を育む・市民活動の活性化を図る				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
				年間観光入込客数	人	279500.	290400.	293000.	295000.	300000.	
				守る会会員数	人	179.	168.	200.	200.	200.	
				作業参加者数(延べ人数)	人	300.	300.	300.	300.	300.	
						0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	内訳	県支出金	千円	0	0	0	1,700	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	3	275	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	8,900	279	709	41,384	1,247	0	0	
	事業費計(A)	千円	8,903	554	709	43,084	1,247	0	0		
人件費	正規職員	千円	1,510	0.25人	2,555	0.40人	2,555	0.40人	2,555	0.40人	
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
	人件費計(B)	千円	1,510	2,555	2,555	2,555	2,555	2,555			
	投入量(A)+(B)	千円	10,413	3,109	3,264	45,639	3,802				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		平成7年3月に制定した「清水洞の上地区整備研究調査報告書」に基づき、整備計画策定委員会を組織して整備に向けた取り組みを開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		・「清水洞の上自然を守る会」が発足し、地域住民と市と協働し、積極的な管理活動を行っている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		・より良い公園にしてほしい・次期整備工事着工を早期実現してほしい・「清水洞の上自然を守る会」が維持管理を継続できるのか(公園を拡大した場合を含む)・「清水洞の上自然を守る会」会員の高齢化が懸念される									

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	8日						
事務事業名	静峰ふるさと公園管理事業				事業類型	維持管理									
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	主幹 藤 哲也									
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画対象事業								
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る												
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用												
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	静峰ふるさと公園管理事業	根拠法令	静峰ふるさと公園の設置及び管理に関する条例				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)														
事業概要 【全体概要】 「日本さくら名所100選」に選ばれている静峰ふるさと公園を訪れる人々が、快適に利用できるよう維持管理を行う。											【業務内容】 ・除草作業 ・樹木の剪定 ・グラウンド・ゴルフ場の管理 ・桜の植栽				
1 現状把握の部(DOシート)															
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移															
						単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)				
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)											
市民及び観光客 施設及び樹木				人口	人	55887.	55647.	55300.	55100.	55000.					
				管理面積	ha	12.	12.	12.	12.	12.					
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)											
除草及び樹木の剪定・植栽等を行い、グラウンド・ゴルフ場を含め公園を良好な状態に維持管理する。				作業日数	日	306.	306.	306.	306.	306.					
						0.	0.	0.	0.	0.					
						0.	0.	0.	0.	0.					
						0.	0.	0.	0.	0.					
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)											
・来園者が快適かつ安心して利用できるようにする。				年間観光入込客数	人	279500.	290400.	293000.	295000.	300000.					
				八重桜まつり入場者数	人	38000.	41000.	33000.	37000.	41000.					
				グラウンド・ゴルフ利用者数	人	1885.	2521.	2600.	2600.	2600.					
						0.	0.	0.	0.	0.					
(2)投入量の推移															
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費							
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0							
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0							
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0							
	その他	千円	250	5,500	0	0	0	0							
	一般財源	千円	11,061	5,882	11,382	11,382	11,382	11,382							
事業費計(A)		千円	11,311	11,382	11,382	11,382	11,382	11,382							
人件費	正規職員	千円	970	0.20人	1,545	0.30人	1,545	0.30人	1,545	0.30人					
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人					
	人件費計(B)	千円	970	1,545	1,545	1,545	1,545	1,545							
投入量(A)+(B)		千円	12,281	12,927	12,927	12,927	12,927	12,927							
(3)事務事業の環境変化・市民意見等															
①事業を始めたきっかけ			・市民の憩いの場を確保することを目的に開始した。												
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			・施設の経年劣化が進んでいる。 ・樹木の老木化が進んでいる。												
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・きれいに管理されている。 ・園内にグラウンド・ゴルフ場案内看板の設置をしてほしい。												

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	8日				
事務事業名	八重桜まつり事業				事業類型	イベントの開催							
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	主事 寺門 大輝							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				■ 実施計画対象事業						
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る										
	基本事業名		1 観光イベントによる地域活性化										
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	八重桜まつり事業	根拠法令			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)						
事業概要													
【全体概要】 日本さくら名所100選に選ばれている静峰ふるさと公園で、「八重桜まつり」としてイベントを開催することにより、観光客の誘致及び各種団体の自主活動の活性化を図る。						【業務内容】 イベントの運営の補助及びまつり期間の公園管理業務							
1 現状把握の部(DOシート)													
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移													
						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民及び観光客						人口	人	55887.	55647.	55300.	55100.	55000.	
								0.	0.	0.	0.	0.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
運営主体となる実行委員会への補助金支出、実行委員会への共催・参画。駐車場警備、ゴミ処理、臨時トイレ借上げ等委託契約などまつり開催に伴う事務。						まつり開催日数	日	18.	19.	18.	18.	18.	
						イベント開催日数	日	3.	3.	3.	3.	3.	
						PR回数	回	5.	5.	5.	5.	5.	
								0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
・当市への観光客を増やす・市民の郷土愛を育む						イベント参加団体数(実数)	団体	63.	73.	73.	73.	73.	
						年間観光入込客数	人	279500.	290400.	293000.	295000.	300000.	
						来場者数(桜期間)	人	38000.	41000.	33000.	37000.	41000.	
								0.	0.	0.	0.	0.	
(2) 投入量の推移													
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費					
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0					
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0					
	その他	千円	3,420	3,420	3,420	3,420	3,420	3,420					
	一般財源	千円	4,300	5,347	5,347	5,347	5,347	5,347					
事業費計(A)		千円	7,720	8,767	8,767	8,767	8,767	8,767					
人件費	正規職員	千円	1,875	2,105	2,105	2,105	2,105	2,105					
	正規外職員	千円	127	150	150	150	150	150					
	人件費計(B)	千円	2,002	2,255	2,255	2,255	2,255	2,255					
投入量(A)+(B)		千円	9,722	11,022	11,022	11,022	11,022	11,022					
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等													
①事業を始めたきっかけ			市民の憩いの場を提供するために静峰ふるさと公園を造成し、観光客誘致のためイベントを開催した。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			「日本さくら名所100選」に選ばれたことや、インターネットの普及により地域住民のみならず広くイベント周知ができるようになったことで、県内外から多くの集客を集めることが可能となった。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・桜だけではなく、四季を楽しめる公園にしてほしい。・継続して開催してほしい。										

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート			作成日	平成28年	6月	8日
					点検日	年	月	日
事務事業名	白鳥保護事業			事業類型	維持管理			
担当部課G等	産業部 商工観光課	商工観光グループ		記入者氏名	主幹 藤 哲也			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり						■ 実施計画 対象事業
	施策名	3 地域資源を活かした観光の振興を図る						
	基本事業名	2 観光資源の発掘と活用						
予算科目	一般会計	款 06	項 01	目 03	事業名 白鳥保護事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
事業概要								
【全体概要】 古徳沼及び一の関ため池に飛来する白鳥の保護啓発及び古徳沼における見学者のための施設管理				【業務内容】 ・飛来数確認 ・トイレや駐車場の維持管理 ・広報活動				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)			
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・市民及び観光客 ・白鳥		見学者数(古徳沼)	人	6739	12909	13000	13000	13000		
		人口	人	55887	55647	55300	55100	55000		
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
・餌の確保 ・古徳沼駐車場及びトイレ維持管理 ・広報活動		市HP更新回数	回	21	99	100	100	100		
		餌の譲受回数	回	248	250	250	250	250		
				0	0	0	0	0		
				0	0	0	0	0		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
・市の鳥で知名度を向上により観光客を増やす。		最大白鳥飛来数(古徳沼)	羽	114	105	105	105	105		
		最大白鳥飛来数(一の関ため池)	羽	60	75	75	75	75		
		年間観光入込客数	人	279500	290400	293000	295000	300000		
				0	0	0	0	0		
(2)投入量の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費		
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	848	888	888	888	888	0		
	事業費計(A)	千円	848	888	888	888	888	0		
人件費	正規職員	千円	615	0.15人	1,180	0.25人	1,180	0.25人	1,180	0.25人
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人
	人件費計(B)	千円	615	1,180	1,180	1,180	1,180	1,180		
投入量(A)+(B)		千円	1,463	2,068	2,068	2,068	2,068			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		古徳沼に飛来する白鳥の保護事業を行っていたことによる。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		白鳥の飛来する場所が分散傾向にあり、特定の湖沼にて越冬することが減少した。また、白鳥の排泄物により水質悪化が懸念される。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		・餌の量が足りないので白鳥が分散しているのではないかと懸念されている。・マナーのない釣人が残したゴミ等により白鳥が負傷する場合があるため釣り禁止にしてほしい。								

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえた見直し内容) 土地評価替えに合わせ、地権者と評価額に基づく借地料単価で借地契約の更新ができるように交渉を行った。 (予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費 888 千円) (人件費 1,180 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民や観光客が白鳥を見学する際に利用する駐車場及びトイレ等の整備は、地元住民の迷惑とならないよう市が設置していることから、その維持管理等については市の責務である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 白鳥飛来のPRを実施することにより、白鳥見学者の増加が見込まれ、市の知名度アップにつながる。 ③ 類似事業との統廃合余地 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似の事業はない。 廃止を行った場合は、見学者の利便性が悪くなることから、見学者の減少及び那珂市のイメージダウンにつながる。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的にそぐわない支出はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 土地評価替えに合わせ、地権者と評価額に基づく借地料単価で借地契約を契約しており、今以上のコストダウンは見込めない。人件費については、すでに最低限であることから、これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 <input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 渡り鳥である白鳥を保護するとともに、見学者の利便性向上及び近隣住民の迷惑を防止するための事業であることから、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 今後、借地している土地を公有地として、地権者と払い下げの交渉を行うことを基本としているが、交渉が折り合わない際は、土地評価替えの年に地権者と評価額に基づく借地料単価での借地契約の更新を行っていく。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			X	低下			X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			X																		
	低下			X																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 今後、借地している土地を公有地として、地権者と払い下げの交渉を行うことを基本としているが、交渉が折り合わない際は、土地評価替えの年に地権者と評価額に基づく借地料単価での借地契約の更新を行っていく。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	8日		
事務事業名	一の関溜池公園管理事業				事業類型	維持管理					
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	主幹 藤 哲也					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活があり賑わいのあるまちづくり				□ 実施計画対象事業				
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る								
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用								
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	一の関溜池公園管理事業	根拠法令	
事業期間	□ 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)				□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 一の関溜池公園及び曲がり屋の適正な維持管理					【業務内容】 公園の緑化管理及び施設設備の維持管理業務						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (計画)	30年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等					④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・公園内の設備及び草木・公園利用者					一の関溜池公園面積	m ²	17955.	17955.	17955.	17955.	17955.
					樹木管理本数	本	569.	569.	569.	569.	569.
②手段(具体的な事務事業のやり方)					⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
植栽の維持管理委託、各種設備維持管理					緑化管理回数	回	21.	19.	19.	19.	19.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)					⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
より良い環境を保ち、市民の憩いの場を提供するとともに、多くの方に来園してもらう。					設備の不具合発生件数	件	3.	2.	0.	0.	0.
					年間観光入込客数	人	279500.	290400.	293000.	295000.	300000.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移											
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費			
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	4,600	0	0	0	0			
	一般財源	千円	9,674	5,480	10,080	10,080	10,080	10,080			
	事業費計(A)	千円	9,674	10,080	10,080	10,080	10,080	10,080			
人件費	正規職員	千円	970	0.20人	1,180	0.25人	1,180	0.25人	1,180	0.25人	
	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	
	人件費計(B)	千円	970	1,180	1,180	1,180	1,180	1,180			
投入量(A)+(B)		千円	10,644	11,260	11,260	11,260	11,260	11,260			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		一の関溜池親水公園完成後、施設の維持管理事業として開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		那珂市曲がり屋が隣接し、冬季には白鳥が飛来する公園として周知されてきた。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		<ul style="list-style-type: none"> 池の水が汚い 白鳥の餌が少ない。 曲がり屋の利用拡大(読み聞かせなど) 									

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <p>土地評価替えに合わせて地権者と評価額に基づく借地料単価での借地契約を行った。</p>	(予算への反映) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円) <li style="padding-left: 20px;">(人件費 0 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費 10,080 千円) <li style="padding-left: 20px;">(人件費 1,180 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的妥当性評価 ① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 行政という公的主体の所有と管理による「市民のための公園」である。
有効性評価 ② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) イベント会場としても使用され、市役所庁舎前にある市の顔としての公園であることから、適正に管理することにより利用者の拡大が図られる。
評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 都市計画課などが管理する都市公園の事業と類似しているが、目的が異なる部分もあり今のところ統廃合の余地はない。 事業を廃止した場合には施設の良好な状態が維持できなくなり、那珂市のイメージダウンにつながる。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費・人件費については、すでに最低限であることから、これ以上の削減は難しい。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 那珂市のイメージアップ及び公園利用者の利便性の向上を図るための事業であることから、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善による期待成果																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 一の関ため池親水公園内の曲がり屋については、移築から年月が経っていることから、今後は修繕計画を立て計画的な維持管理を行っていく。	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)	改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じ場合も記入) 一の関ため池親水公園内の曲がり屋については、移築から年月が経っていることから、今後は修繕計画を立て計画的な維持管理を行っていく。市民サービスから施設の利便向上を図る。																					
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成27年度	事務事業評価シート				作成日	平成28年	6月	9日				
事務事業名	静峰ふるさと公園再生事業				事業類型	事業の推進							
担当部課G等	産業部 商工観光課		商工観光グループ		記入者氏名	小泉 周司							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第5章 活力があり賑わいのあるまちづくり				□ 実施計画対象事業						
	施策名		3 地域資源を活かした観光の振興を図る										
	基本事業名		2 観光資源の発掘と活用										
予算科目	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業名	静峰ふるさと公園再生事業	根拠法令	静峰ふるさと公園の設置及び管理に関する条例		
事業期間	□ 単年度のみ				□ 単年度繰返(開始年度 年度～)			■ 期間限定複数年度 (H26年度～H27年度)					
事業概要													
【全体概要】 「静峰ふるさと公園等台帳整備事業」の成果品に基づき、公園内の樹木再生を図るため、公園管理の補助人員を雇用することで再生に資する。					【業務内容】 公園再生のための除草作業、樹木剪定、苗木植樹、肥料及び農薬散布などの作業								
1 現状把握の部(DOシート)													
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移													
						単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)									
静峰ふるさと公園内の施設及び樹木等				作業面積	ha	12.	12.	0.	0.	0.			
						0.	0.	0.	0.	0.			
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
・除草及び樹木の剪定・植栽の実施。 ・事務所外壁、遊具、ベンチ等の補修及び修繕。				作業日数	日	22.	288.	0.	0.	0.			
						0.	0.	0.	0.	0.			
						0.	0.	0.	0.	0.			
						0.	0.	0.	0.	0.			
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)									
来園者が快適に楽しめる公園づくりを行う				年間観光入込客数	人	279500.	290400.	0.	0.	0.			
				八重桜まつり入場者数	人	38000.	41000.	0.	0.	0.			
				グランドゴルフ利用者数	人	1885.	2000.	0.	0.	0.			
						0.	0.	0.	0.	0.			
(2)投入量の推移													
		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(計画)	30年度(計画)	総事業費					
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	内訳	県支出金	千円	390	4,936	0	0	0	0	7,566			
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0			
事業費計(A)		千円	390	4,936	0	0	0	0	7,566				
人件費	正規職員	千円	63	0.01人	73	0.01人	73	0.01人	73	0.01人			
	正規外職員	千円	0	0.00人	4,005	4.00人	0	0.00人	0	0.00人			
	人件費計(B)	千円	63	4,078	73	73	73	73					
投入量(A)+(B)		千円	453	9,014	73	73	73						
(3)事務事業の環境変化・市民意見等													
①事業を始めたきっかけ			平成26年度補正の緊急雇用創出事業を活用し、失業者を作業員として雇用することで、通常の公園管理では出来なかった公園再生を重点とする作業を集中して行うために事業を始めた。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			公園内の景観がきれいに整備されていると「八重桜まつり」に訪れた方から称賛された。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			公園整備からの経年により園内施設が老朽化が目立っており、大勢の人数で利用した場合に問題が生じることもあるため、計画的な修繕、整備が必要ではとの声が上がっている。										

(4) 前回(平成26年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえた見直し内容) <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="width: 40px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？ ●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？ ●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市施設である「静峰ふるさと公園」内の維持管理にかかる、作業を行うものなので、市が全体となって実施している。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？ ●成果が一部の対象者に限定されていませんか？ ●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありますか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 作業員全員が使用できる機械が揃っていれば、作業効率は最大限のものとなる。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？ ●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 既存事業である「静峰ふるさと公園管理事業」で公園管理は行っていたが、通常の管理範疇以外の部分で公園再生につながる作業を積極的に行う目的で、国の緊急雇用創出事業を活用し事業化された。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ ●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ ●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費の大部分が作業員の人件費と作業に必要な原材料及び消耗品の予算であるため削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ ●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 設管条例に基づく公園を再生化させる事業であり、公園は市民の誰もが利用できる「憩いの場」であるため、利用者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 公園の維持管理は「静峰ふるさと公園管理事業」として今後も実施するが、当事業については27年度をもって終了する。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">向上 維持 低下</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果		コスト			削減	維持	増加	向上 維持 低下	向上				維持				低下			
成果				コスト																		
		削減	維持	増加																		
向上 維持 低下	向上																					
	維持																					
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						